

学習内容のお知らせ

保護者各位

平素はさんさん教育にご理解とご支援をいただき有り難うございます。

つきましては、お子様はこれからさんさんの きそ10 の学習を始めますので、基本的な内容をお知らせいたします。

1. 貨幣の単位

世界中の国にはそれぞれ貨幣の単位があります。たとえば、日本は円、アメリカはドルというようにきめられています。

貨幣の単位名

国名	基本単位・単位	補助単位	単位の関係
日本	円 ¥	銭	1円 = 100銭
アメリカ	ドル \$	セント	1ドル = 100セント
ヨーロッパ	ユーロ €	ユーロセント	1ユーロ = 100ユーロセント
ロシア	ルーブル RbI	コペック	1ルーブル = 100コペック

2. 換算

国によってお金の単位名の表し方が違うように、その値うちも違います。たとえば、アメリカのお金の1ドルと、日本のお金の1円は同じ値うちではありません。したがって、1つのきまりによって同じ程度の値うちに換えるようになっていきます。

世界旅行をしたときは、そのときの値うちにしたがって、その国のお金に換算しなければなりません。

— 問題 —

\$1が、日本の¥128の値うちのとき、\$370は円でいくらか。

◆ 倍数の性質

倍数を てきとうな□に書きなさい。

16	16		16				16								16
15				15										15	
14	14					14							14		
13												13			
12	₁₂	12	12		12							12			
11										11					
10	10			₁₀					10						
9		₉						9							
8	8		₈				8								
7						7									
6	₆	6			6										
5				5											
4	4		4												
3		3													
2	2														
1															

↑ 1 の倍数
 ↑ 2 の倍数
 ↑ 3 の倍数
 ↑ 4 の倍数
 ↑ 5 の倍数
 ↑ 6 の倍数
 ↑ 7 の倍数
 ↑ 8 の倍数
 ↑ 9 の倍数
 ↑ 10 の倍数
 ↑ 11 の倍数
 ↑ 12 の倍数
 ↑ 13 の倍数
 ↑ 14 の倍数
 ↑ 15 の倍数
 ↑ 16 の倍数

— 倍数の性質 —

- ① 倍数は、規則正しくなっている。
- ② ある数の倍数は、無限にある。
- ③ どんな整数も、1の倍数である。
- ④ どんな数も、それ自身の倍数である。
- ⑤ ある数の倍数の倍数は、もとの数の倍数である。

約数と公約数も
 2ページ・3ページのように学習します。

◆ 公倍数の見つけ方

そろばんを使って、2と3の最小公倍数をしらべなさい。

2×1		3×1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2と3では、2のほうが小さいから、2を次の倍数にする。 ・ 4と3では、3のほうが小さいから、3を次の倍数にする。 ・ 4と6では、4のほうが小さいから、4を次の倍数にする。 ・ 6と6は同じだから、6は2と3の公倍数である。
2×2		3×1	
2×2		3×2	
2×3		3×2	

公倍数は、まず倍数が自由自在に頭の中で使いこなせることと、2つの数の関係を見つけることが基本です。暗算だけではとてもできません。そんなとき数の操作が自由自在できるそろばんが最高の教具となります。公約数の学習にも役に立ちます。公倍数と公約数は、下の文章題の解決や、分数における通分・約分には欠かすことのできない知識と技能です。

— もんだい —

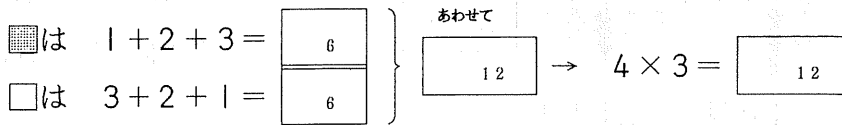
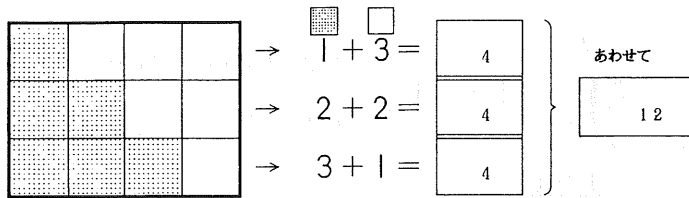
- (1) バスは9分おきに、電車は5分おきに発車します。午前6時に同時に発車すると、次に同時に発車するのは何時何分ですか。
- (2) 18このケーキと27このチョコレートがあります。それらを同じ数ずつわけるとき、余りがでないように分けられるのは、何人のときですか。

この問題の解決は、最小公倍数と最大公約数を見つけることです。

◆ 実証研究 — 小学校3年生が良い学習結果を出しています。

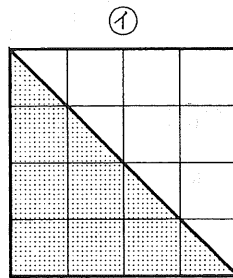
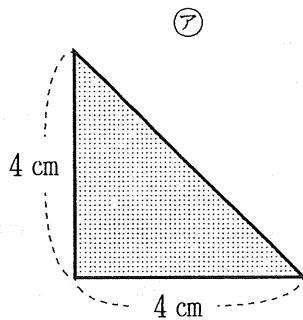
◆ 三角形の面積

(1) 下の□の数をもとめる式を考えましょう。



■はぜんぶの数の半分だから、式は $(1 + 3) \times 3 \div 2 =$

(2) 三角形の面積を、しらべてみましょう。



①の正方形の面積は
 $4 \times 4 = 16$
 三角形は、その半分
 $16 \div 2$

アの面積は $4 \times 4 \div 2 =$ で になります。

教育のねらい

教育のねらいは、社会性、道徳性、知性が一体化となった自立性を、子どもたちが発達させることでなければならない。

— ピアジェ —

さんさん教育研究所

さんさん教育指定教場